

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	確かな学力を育てる教育の推進				予算施策コード	ky02	
担当部局名	教育委員会	指導部	義務教育課	評価責任者	課長 小池 達士	連絡先	4802

1 施策の内容

施策の目標	<p>令和2年3月に策定した「第3期愛媛県学力向上推進3か年計画」に則り、これまで成果のあった、県独自の学力調査の作成・実施や学力向上推進主任研修会の開催などを継続するとともに、本県の課題を克服する策を講じることで、学力向上への取組を推進する。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、全国学力・学習状況調査において、引き続き全国上位の学力水準を維持することで、更なる学校教育の質の保証・向上を目標とする。</p>
-------	--

これまでの取組み	<p>24年度に、学力向上システム構築事業を立ち上げ、28年度にかけて「愛媛県学力向上5か年計画」に基づき、各学校における検証改善サイクルの強化や教師個々の授業力の向上を図った。小中学校に設置した学力向上推進主任の資質向上のための研修や県独自の学力調査の実施により、各学校における組織的な学力向上の取組を支援した。さらに、教員の意識改革を図るため、全小中学校に対して、学力向上推進主任との面談や効果のあった学校の取組紹介DVDの配付などを行うとともに、子どもたちの応用力を伸ばす学習プリントや、授業や宿題で利用できるドリル問題などの提供にも取り組んだ。5か年計画の最終年度となった28年度は、大学教授、PTA関係者、学校関係者等による「学力に関する検証委員会」を設置し、これまでの取組の成果を検証するとともに、今後の方針等について検討した。</p> <p>29年度は、「愛媛県学力向上推進3か年計画(第2期)」に則り、応用力強化シート及び基礎力強化シートを作成し、各教科の応用力向上や基本的な知識の定着等に取り組んだ。また、読書意欲の喚起や読書傾向の自覚を促し、読書活動を推進するため、小学4～6年の全ての児童に「みきゃん通帳(読書通帳)」を配付した。</p> <p>30年度は、引き続き、県学力診断調査等の実施や、応用力強化シート及び基礎力強化シートの作成、「みきゃん通帳」の配付などを行うとともに、県作成の「学習シート」を冊子にして放課後子ども教室等へ提供した。</p> <p>元年度は、大学教授、PTA関係者、学校関係者等による「学力に関する検証委員会」を設置し、「学力向上推進3か年計画(第2期)」の成果と課題を検証するとともに、今後の学力向上の取組方針等について検討した。また、学力向上推進主任研修会の実施により、各学校における組織的な学力向上の取組を支援した。</p> <p>2年度は、「第3期愛媛県学力向上推進3か年計画」に則り、本県の課題である中学生の英語力向上のため、英検3級受験対策講座(英語力向上講座)を開催した。また、中学校理科基礎力強化シートや中学校英語応用力強化シート教材を作成・配付するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善リーフレットの作成・配付を行った。</p> <p>3年度は、1人1台端末の整備が完了する機会を捉え、学習の成果と課題の早期把握による個別最適な学びの実現や採点・集計業務の効率化による教員の業務負担軽減を図るため、日常のテスト、ドリル等を対象に含めた県独自のCBTシステムを開発し、試験運用を行った。</p> <p>4年度は、本格運用を開始した県独自のCBTシステムを効果的に活用し、個別最適な学びの更なる充実を目指すとともに、本システムと連動した「読書通帳アプリ」や「タイピング検定アプリ」を開発し、本県の学びの課題克服に努めた。</p>
----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	全国学力・学習状況調査における小学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較				B	全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較					
選択理由	児童の学習状況を把握するため。				選択理由	生徒の学習状況を把握するため。					
算定方法	全国学力・学習状況調査の児童の教科に関する調査				算定方法	全国学力・学習状況調査の生徒の教科に関する調査					
成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%		%	%		%	千円					
2年度	102			103			70,732	14,275	1,412	55,045	35,643	25,042
3年度	102	102	100.0%	103	101	98.1%	165,266	122,823	1,412	41,031	135,862	33,275
4年度	102	101	99.0%	103	100	97.1%	160,415	18,550	75,918	65,947	136,609	32,256

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	<p>県が県内全小中学校の学力向上推進主任に対し、研修会等を通じて学力向上に関する情報を提供する機会を設定したり、県学力診断調査を県内全小中学校で実施し、教科ごと、設問ごとの県の平均正答率等を市町教育委員会や学校に知らせるシステムを活用したりすることにより、児童生徒の一層の学力の向上が図られる。令和3年度に開発した県独自のCBTシステムを効果的に活用することで、学習の成果と課題の早期把握による個別最適な学びの実現や、採点・集計業務にかかる教員の業務負担縮減が図られる。</p>					
高い								
成果指標A	成果動向	説明	<p>成果指標としていた授業理解度が全国学力・学習状況調査質問紙において算出できなくなったため、令和元年度より、愛媛県長期計画第3期アクションプログラムと合わせ、成果指標を「全国学力・学習状況調査における小学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較が、平成30年度の実績以上」とした。直近の調査である令和4年度全国学力・学習状況調査においては、引き続き全国上位水準の学力を維持できているものの、目標値を若干下回った。これまでの成果と課題の詳細な分析や県独自のCBTシステムの効果的な活用により、授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげ、更なる学校教育の質の保証・向上を図っていく必要がある。</p>					
成果動向							横這い	
成果向上余地	成果向上が可能	説明	<p>成果指標としていた授業理解度が全国学力・学習状況調査質問紙において算出できなくなったため、令和元年度より、愛媛県長期計画第3期アクションプログラムと合わせ、成果指標を「全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較が、平成30年度の実績以上」とした。直近の調査である令和4年度全国学力・学習状況調査においては、引き続き全国上位水準の学力を維持できているものの、目標値を若干下回った。これまでの成果と課題の詳細な分析や県独自のCBTシステムの効果的な活用により、授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげ、更なる学校教育の質の保証・向上を図っていく必要がある。</p>					
成果動向	横這い							
成果向上余地	成果向上が可能	説明	<p>成果指標としていた授業理解度が全国学力・学習状況調査質問紙において算出できなくなったため、令和元年度より、愛媛県長期計画第3期アクションプログラムと合わせ、成果指標を「全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較が、平成30年度の実績以上」とした。直近の調査である令和4年度全国学力・学習状況調査においては、引き続き全国上位水準の学力を維持できているものの、目標値を若干下回った。これまでの成果と課題の詳細な分析や県独自のCBTシステムの効果的な活用により、授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげ、更なる学校教育の質の保証・向上を図っていく必要がある。</p>					
成果動向	横這い							
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.03	順調・向上		成果向上余地	1.75	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

ky02

確かな学力を育てる教育の推進

1 えひめ版学力向上推進事業費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画		101.7	101.7		予算	事業費計	31,380	88,173	79,506	49,391	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
成果	+	70-	全国学力・学習状況調査における小学校の各教科の平均正答率合計の全国平均と	%	実績				101.6	100.8	国費		88,173					5,000	その他	74,506	49,391
					達成率	-			99.90%	99.12%		県費	31,380								
					計画				102.8	102.8											
指標種類2	指標名称2	単位	計画		101	100			決算	事業費計	21,989	87,490	78,537					見直し 方向性	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
成果	+	70-	全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均と	%	実績					101	100	国費									
					達成率	-		98.25%		97.28%	県費		21,989								
					計画			6		6											
指標種類3	指標名称3	単位	計画		6	6		人役			1.7	1.7	1.7	方向1	このまま継続						
活動	+	70-	学力向上推進主任研修会の開催回数	回	実績					6	6	人件費	11,503			10,285	10,151				
					達成率	-			100.00%	100.00%											
					計画				6	6											
実施期間	始期	終期	事業の概要				R3		日常のテスト、ドリル等を対象に含めた県独自のCBTシステムを開発・運用することにより、学習の成果と課題の早期把握、個別最適化された学びの実現に資する。また、テストやドリル等のCBT化により、教員の業務負担の大幅な削減を実現し、教員が一人一人の児童生徒に密に関わる時間の創出につなげる。												

2 科学の甲子園ジュニア県代表選考事業費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり									
指標種類1	指標名称1	単位	計画	95	95	95		予算	事業費計	1,035	1,035	1,035	1,079	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
成果	+	70-	参加生徒の科学への興味・関心の高揚度	%	実績				0	97.2	国費								その他	775	775	775	808		
					達成率	0.00%			0.00%	102.32%		県費	260					260						260	271
					計画				55	55															
指標種類2	指標名称2	単位	計画		55	55			決算	事業費計	0	576	651					見直し 方向性	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
活動	+	70-	県大会のチーム参加数	チーム	実績					0	24	国費												その他	0
					達成率	0.00%		67.27%		43.64%	県費		0	155	166										
					計画																				
指標種類3	指標名称3	単位	計画					人役			0.1	0.1	0.1	方向1	このまま継続										
実施期間	始期	終期	事業の概要	H25	理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気づき、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供するとともに、全国大会出場チームを選考する。	人件費				677	605	598	方向2												
									達成率	-	-	-													
									計画																

3 えひめ英語力向上特別対策事業費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり									
指標種類1	指標名称1	単位	計画	50	50	50.0		予算	事業費計	19,706	6,015	6,015	5,951	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
成果	+	70-	CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する高3生の割合	%	実績				44.9	49	国費								その他	19,706	6,015	6,015	5,951		
					達成率	89.80%			96.40%	98.00%		県費	19,706					6,015						6,015	5,951
					計画				230	230			230												
指標種類2	指標名称2	単位	計画		230	230			決算	事業費計	13,815	4,059	3,842					見直し 方向性	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
活動	+	70-	英語教育フェスタ及びチャレンジサマースクールの参加人数の合計	人	実績					102	156	国費												その他	13,815
					達成率	44.35%		66.52%		67.83%	県費		13,815	4,059	3,842										
					計画			70		70			70												
指標種類3	指標名称3	単位	計画		70	70		人役			0.2	0.2	0.2	方向1	見直し（拡大・縮小・執行方法の改善等）										
活動	+	70-	英語力向上講座で講師を務めた外国人の延べ人数	人	実績					33	107	人件費	1,354			1,210	1,195					方向2	成果向上		
					達成率	47.14%			147.14%	152.86%															
					計画																				
実施期間	始期	終期	事業の概要				H29		R4	新学習指導要領の全面実施に向けた準備を進めるとともに、グローバル化が進展する社会にあって、英語による思考力・判断力・表現力等を高め、発信力の育成を更に強化することができるよう、R元年度まで実施してきた同事業の内容を精選し継続する。															

4 えひめスーパーハイスクールコンソーシアム開催事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			単位	計画	2200	2200	2200		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	評価	令和4年度の本事業については、ICTを活用したオンライン型と東予、中予、南予の各地区の会場に参加者を集めた参集型のハイブリッド形式で開催することとした。このことにより、当初計画していた人数より多くの参加者を得ることができ、事業目的も達成することができた。										
成果	+	70-	参加者数	人	実績	2118	2351	4819			予算	事業費計	6,780						5,211	4,796	0				
					達成率	96.27%	106.86%	219.05%				国費	2,774						2,353	2,285					
					その他																				
指標種類2	+	70-	愛媛への愛着を持つ生徒の割合	%	計画	50	50	50			決算	事業費計	958						2,612	3,078	見直し 方向性	方向1 統合 方向2 方向3			
					実績	48	53.9	51.7				国費	479						1,306	1,511					
					達成率	96.00%	107.80%	103.40%		その他															
指標種類3			指標名称3	単位	計画					人役	県費	479	1,306	1,567	令和5年度からは、「ソーシャルチャレンジfor High School事業」において、オンライン型と会場に参加者を集めた参集型のハイブリッド形式で開催することとしており、愛媛に愛着を持つ生徒の育成を、さらに推進してまいりたい。										
					実績						人件費	677	605	598											
					達成率	-	-	-																	
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	R2	R4	各事業指定校による成果発表や県立高校等の先進的な教育活動の報告及び意見交換等を通して、研究成果の普及と深化を図るとともに、主体的に学び地域課題の解決に取り組もうとする気運を醸成する。																						

5 高等学校ICT活用授業改善推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			単位	計画		65	70		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	評価	公開授業や研究協議を通じて、ICTを活用した授業改善に関する課題や工夫を各校間で共有することができた。今後更に、先進校視察や講演会、教員研修会を通じて、教員の授業改善に対する理解を深め、ICT活用のスキルが高まるよう努める。										
成果	+	70-	県立学校(県立高校、県立中等)教員のICT活用スキル達成度	%	実績		32.6	60.8			予算	事業費計	0						28,557	17,490	17,207				
					達成率	-	3.26%	60.80%				国費							22,128						
					その他																				
指標種類2	+	70-	推進校における公開授業の回数(延べ)	回	計画		25	27			決算	事業費計	0						22,841	14,801	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					実績		23	24				国費							22,841	14,701					
					達成率	-	92.00%	88.89%		その他				100											
指標種類3	-	70-	教科指導・進路指導の改善に取り組んだ学校数	校	計画		47	47		人役	県費				令和5年度からは、「ソーシャルチャレンジfor High School事業」において、オンライン型と会場に参加者を集めた参集型のハイブリッド形式で開催することとしており、愛媛に愛着を持つ生徒の育成を、さらに推進してまいりたい。										
					実績		47	47			人件費		1,210	1,195											
					達成率	-	100.00%	100.00%																	
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	R3	R5	「授業改善推進校」10校が、大学入学共通テスト等への対応を踏まえ、生徒の多面的な力を引き出す授業や課題設定等とともに、生徒の学力の3要素を適切に評価する方法などの実践研究を通じて、ICTを活用しながら、新しい時代に求められる生徒の資質・能力の育成と向上に取り組む。																						

6 えひめ高等学校全国募集促進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			単位	計画		90	150		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	評価	全国募集のPR方法等の改善や工夫により、一定の成果向上が見込まれる。										
成果	+	70-	全国募集による入学者数	人	実績		70	88			予算	事業費計	0						8,956	9,161	19,954				
					達成率	-	77.78%	58.67%				国費							1,868	2,189	4,226				
					その他																				
指標種類2	+	70-	学校見学バスツアー参加者もしくは来県補助利用者のうち、実際の入学生徒の割合	%	計画		50	63.3			決算	事業費計	0						5,176	7,455	見直し 方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上			
					実績		63.3	63.4				国費							1,864	2,166					
					達成率	-	126.60%	100.16%		その他															
指標種類3	+	70-	SNS広告の表示者数	人	計画		410000	410000		人役	県費		3,312	5,289	令和5年度からは、「ソーシャルチャレンジfor High School事業」において、オンライン型と会場に参加者を集めた参集型のハイブリッド形式で開催することとしており、愛媛に愛着を持つ生徒の育成を、さらに推進してまいりたい。										
					実績		342501	938934			人件費		1,210	1,195											
					達成率	-	83.54%	229.01%																	
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	R3	R5	全国募集実施校のうち、特に地元自治体と強固な信頼関係を築き上げ、県外生徒の確保に熱意を持って取り組んでいる学校の活動を強力にバックアップし、小規模校の活発化及び地域活動の担い手の増加を図る。																						

7 えひめ版STEAM教育研究開発事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画			25		予算	事業費計	0	0	16,120	9,856	評価	「教科等横断型授業」と「課題研究」という二つの柱を関連付けながら教育活動を展開していくことで、その充実を図ることができた。全国コンテスト入賞件数自体は目標値を超えているが、実践校3校すべてで実績を積み重ねることが重要であり、成果向上の余地がある。 また、STEAMに関する講演会等のコーディネート、課題研究におけるメンター、プログラミング教材の整備や活用補助などの場面において、支援員と連携を図ることができ、配置が有効であった。		
成果 +	70-	実践校3校での全国コンテスト入賞件数	件	実績			30		国費				337	367					
				達成率	-	-	120.00%		その他				0						
指標種類2	指標名称2			単位	計画			80			県費			15,783	9,489				
成果 +	70-	STEAM教育支援員の配置が有効であったとする教員の割合	%	実績				100		決算	事業費計	0	0	13,679		見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
				達成率	-	-	125.00%		国費				116						
指標種類3	指標名称3			単位	計画						その他			13,563					
				実績					人役					0.2					
				達成率	-	-	-			人件費			1,195						
実施期間	始期	終期	事業の概要																
	R4	R6	文系・理系の枠にとらわれない教科等横断的な学びの中で、「えひめ版STEAM教育」を確立し、「多面的に学び、考える力」を育成するとともに、その成果となる「新しい学びのスタイル」を県下一円の県立高校等へ普及することにより、県全体の就職・進学指導の強化を目指す。																
8 高校生おもしろ科学コンテスト事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	800	800	800		予算	事業費計	1,274	1,274	1,274	1,297	評価			
成果 +	70-	コンテスト予選の参加人数	人	実績	721	731	726		国費										
				達成率	90.13%	91.38%	90.75%		その他		637	637	637	648					
指標種類2	指標名称2			単位	計画	100	100	100			県費	637	637	637	649				
成果 +	70-	愛媛県児童生徒理科研究作品及び日本学生科学賞への出品数	点	実績	117	141	131		決算	事業費計	843	824	905		見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3	
				達成率	117.00%	141.00%	131.00%			国費									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	5	5	5			その他	420	410	452					
活動 -	70-	問題作成委員会の開催回数	回	実績	5	5	5			県費	423	414	453						
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%		人役	0.1	0.1	0.1							
実施期間	始期	終期	事業の概要																
	H19	予定・見込があれば記入	愛媛大学の協力を得て、科学コンテストを実施することにより、本県高校生の理数離れに歯止めをかけ、科学的な見方や考え方を養う。																
9 英語ディベート・コンテスト開催事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	80	80	80		予算	事業費計	1,008	1,008	1,008	1,056	評価			
成果 +	70-	英語学習意欲が高まった生徒の割合	%	実績	82	83	84		国費										
				達成率	102.50%	103.75%	105.00%		その他										
指標種類2	指標名称2			単位	計画	291	316	341			県費	1,008	1,008	1,008	1,056				
活動 0	スタッフ	向上委員又は実施委員をした英語教員数(延数)	人	実績	291	316	341		決算	事業費計	489	210	282		見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3	
				達成率	-	-	-			国費									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	100	100	100			その他								
活動 +	70-	英語ディベートコンテスト参加人数	人	実績	130	117	95			県費	489	210	282						
				達成率	130.00%	117.00%	95.00%		人役	0.3	0.3	0.3							
実施期間	始期	終期	事業の概要																
	H29		「英語ディベート・コンテスト」を開催するとともに、ディベート活動の指導法について実践的な研究を行い、その成果を県下に普及することによって、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることは、本県のグローバル人材育成に資する。																
										人件費	2,030	1,815	1,792						

10 えひめ高校生次世代人材育成事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	45	45	45	/	コスト (単位：千円)	事業費計	1,800	1,800	1,800	1,824	評価	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
成果	+	70-	「えひめ高校生次世代人材育成事業」に参加した生徒の事業への評価	人	実績	36	37	26			予算	国費									日本の次世代リーダー養成塾には、例年とおりの生徒数の参加となったが、事後研修会においては、想定した参加者数を達成できなかったため、今後、当事業について、周知に努める。			
					達成率	80.00%	82.22%	57.78%				その他												
					指標種類2	指標名称2						単位	計画	10	10					10		事業費計	1,800	1,800
活動	+	70-	「次世代リーダー養成塾」参加生徒数	人	実績	11	10	10			決算	国費										見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続
					達成率	110.00%	100.00%	100.00%				その他												
					指標種類3	指標名称3				単位		計画	50	50	50	事業費計	1,015	1,068	1,097					
活動	+	70-	事後研修会等への参加全生徒数	人	実績	38	46	28		人役	国費					方向1 方向2 方向3	このまま継続							
					達成率	76.00%	92.00%	56.00%			その他													
					指標種類3	指標名称3					単位	計画	50	50	50			事業費計	1,015	1,068	1,097			
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人件費	0.1	0.1	0.1	方向1 方向2 方向3	このまま継続									
			H28	予定・見込があれば記入	将来を担う若者が集う「日本の次世代リーダー養成塾」に、県内の高等学校及び中等教育学校の生徒を入塾させ、国内及び国外から参加する高い志を持った生徒との交流を通して、世界的な視野で発想、思考、行動できる次世代のリーダーとなる人材の育成を図る。							677	605					598						

11 高校生キャリアプランニング推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	80	80	80.0	/	コスト (単位：千円)	事業費計	3,640	3,640	2,644	2,661	評価	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
成果	+	70-	県内企業に就職した県立高校卒業生（全日制）の仕事に対する満足度	%	実績	81.2	81.8	76.9			予算	国費	978	978	840					846	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの学校でインターンシップ等の体験学習が実施できなかったが、実態に応じた代替の取組を進めた。なお、全ての学校において、インターンシップ等が計画されていたことから、新型コロナウイルス感染症の収束とともに、インターンシップ等への生徒の参加状況は令和元年度並みに戻ると推察される。		
					達成率	101.50%	102.25%	96.13%				その他											
					指標種類2	指標名称2						単位	計画	65	65					65		事業費計	2,662
活動	+	70-	高校3年間にインターンシップもしくは大学等の体験学習に参加した生徒の割合	%	実績	58.6	35.5	21.1			決算	国費	290	324	322					見直し 方向性		方向1 方向2 方向3	このまま継続
					達成率	90.15%	54.62%	32.46%				その他											
					指標種類3	指標名称3				単位		計画	100	100	100	事業費計	544	515	772				
活動	+	70-	「キャリア・パスポート」の活用校の割合	%	実績	100	100	100		人役	国費					令和4年度から「高校生キャリアプランニング推進事業」を実施し、生徒一人一人の進学・就職に向けた主体的なキャリアプランニングを推進している。							
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他												
					指標種類3	指標名称3					単位	計画	100	100	100		事業費計	544	515		772		
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人件費	0.1	0.1	0.1	方向1 方向2 方向3	このまま継続								
			R4	R6	本事業では、インターンシップや人材育成講座を通して、生徒一人一人の進学・就職に向けた主体的なキャリアプランニングを推進するとともに、将来、地域で活躍する姿を生徒自身に描かせることで、高校卒業後に県内で就職、又は、いずれ県内に戻ってくる生徒の育成を目指す。さらに、新規卒業就職者に対して、卒業後のフォローを行うことで離職率の低減を図る。							677	605				598						

12 高校生グローバルチャレンジ推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画			700	/	コスト (単位：千円)	事業費計	0	0	6,182	6,276	評価	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
成果	+	70-	スピーチコンテスト参加生徒数	人	実績			0			予算	国費			4,818					4,818	新型コロナウイルスの影響により、スピーチコンテストが中止となったり、国際線の運航再開が遅れたりしたことにより、十分な活動が実施できなかった。			
					達成率	-	-	0.00%				その他												
					指標種類2	指標名称2						単位	計画		100					事業費計				1,364
成果	+	70-	国際交流活動参加生徒数	人	実績			0			決算	国費			1,680							見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続
					達成率	-	-	0.00%				その他												
					指標種類3	指標名称3				単位		計画		4	事業費計	0	0	1,680						
活動	+	70-	留学プログラムを作成し、文部科学省へ申請した学校数	校	実績			3		人役	国費				0.2	新型コロナウイルスも5類に引き下げられる予定であり、様々な活動がコロナ前と同等のものになってくると考えられるため、高校生の異文化理解につながる活動が円滑に実施できるよう、支援してまいりたい。								
					達成率	-	-	75.00%			その他													
					指標種類3	指標名称3					単位	計画		4	事業費計									
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人件費			1,195	方向1 方向2 方向3	このまま継続									
			R4		海外の高校生による日本語スピーチコンテスト国際大会の、本県での開催を機に、県立高等学校等の生徒がコンテスト出場者と様々な国際交流活動を行い、異文化理解を促進するとともにコミュニケーション能力の向上を図るとともに、文部科学省の「国際文化交流促進費」を活用した事業を実施することにより、本県の高校生に国際的な視野を持たせることで、将来の愛媛の発展を支えるグローバル人材育成の推進を図る。												1,195							

13 教科書採択事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい						
指標種類1	指標名称1			計画	100	0	0	/		予算	事業費計	627	143	143	638	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
成果	+	70-	選定資料を送付した採択権者の率	%	実績	100	100				0	国費									市町教委や県教科図書株式会社(教科書・一般書籍供給会社)等の関係機関と連携し、文部科学省へ誤りなく教科書の需要数を報告したことにより、児童生徒に対して滞りなく教科書が給与された。 なお、令和4年度は、小・中学校用教科書の採択はなかった。			
					達成率	100.00%	-				-	その他												
					計画	0	0				0	県費	627	143	143					638				
指標種類2	指標名称2			計画	0	0	0				決算	事業費計	527	99	118					見直し 方向性		3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい
成果	-	70-	需要数報告で文部科学省から誤り等を指摘された件数	箇所	実績	0	0					0	国費											
					達成率	-	-			-		その他												
指標種類3	指標名称3			計画	2	0	0			人役	0.7	0.7	0.7	方向2										
活動	0	70-	選定資料の種類数	種	実績	2	1			0	人件費	4,737	4,235	4,180	方向3									
					達成率	-	-			-	事業の概要													
実施 期間	始期	終期	S39																					
	義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関し、その適正な実施を図るため、採択の対象となる教科用図書について調査・研究し、採択権者に適切な指導、助言又は援助を行うとともに、教科書の需要数報告や公正確保のための調査等を行う。																							

14 高等学校教育研究推進費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい						
指標種類1	指標名称1			計画	55	55	55	/		予算	事業費計	726	726	726	755	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
成果	+	70-	実施した研究会等の開催回数	回	実績	54	48				54	国費									これまで、各種研修への参加を通して、教員の指導力が強化されてきたことから、過去の参加者数を踏まえ、参加者人数3,500人を維持することを目標としている。令和2～4年度は、コロナ禍においても、オンライン開催等の工夫により、多くの教員に研修機会を提供することができた。			
					達成率	98.18%	87.27%				98.18%	その他												
					計画	3500	3500				3500	県費	726	726	726					755				
指標種類2	指標名称2			計画	3500	3500	3500				決算	事業費計	266	193	493					見直し 方向性		3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい
成果	+	70-	各種研究会等への参加者人数(代替指標)	人	実績	3513	2991					3139	国費											
					達成率	100.37%	85.46%			89.69%		その他												
指標種類3	指標名称3			計画						人役	0.1	0.1	0.1	方向2										
実施 期間	始期	終期	H6																					
	高校の教育改革が進む中、高校教育の充実・改善を図るとともに、県下高校の教育水準を一層高めるために必要である。現在、各研究会等では意欲的な研究活動が実施されており、これらの研究を基に本県の高校では充実した教育活動が展開されている。																							

15 高等学校教育課程等研修費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい						
指標種類1	指標名称1			計画	500	500	500	/		予算	事業費計	1,709	1,709	1,709	1,808	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
成果	+	70-	各種講習会等への参加者人数	人	実績	736	827				743	国費									各種講習会等で、学習指導要領の周知徹底を図り、協議を行うことにより、学校において、特色ある教育課程が編成され、学校独自の学校設定教科・科目が適切に設定されている。研究会等の内容の充実を図ることで、更に学力の向上が見込まれる。			
					達成率	147.20%	165.40%				148.60%	その他												
					計画	390	390				390	県費	1,709	1,709	1,709					1,808				
指標種類2	指標名称2			計画	390	390	390				決算	事業費計	77	134	1,592					見直し 方向性		3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい
成果	+	70-	学校独自の学校設定教科・科目の開設数		実績	463	567					563	国費											
					達成率	118.72%	145.38%			144.36%		その他												
指標種類3	指標名称3			計画						人役	0.1	0.1	0.1	方向2										
実施 期間	始期	終期	S58																					
	新しい学力観に立った指導内容の充実が求められる中、高等学校の教育課程の実施に伴う指導上の諸問題を研究協議し、その説明を図り、教職員の指導力の向上に資する目的で、各種の教職員の研修会等を計画的に実施する。																							

16 高等学校等入学者選抜費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余りが小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100		予算	事業費計	7,725	7,725	7,725	8,793	評価							
成果	+	70-	検査問題における適正な問題数の割合	%	実績	100	100	100			国費									見直し 方向性	方向1	このまま継続	
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他				方向2								
					指標種類2	指標名称2					単位	計画	100	100	100						県費	7,725	7,725
活動	+	70-	検査問題における「中学校学習指導要領及び小学校学習指導要領」に示されている	%	実績	100	100	100			決算	事業費計	7,725	7,725	7,305								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%				国費											
					指標種類3	指標名称3				単位		計画	24600	24600	24600	その他							
活動	+	70-	検査問題の印刷枚数	枚	実績	24600	24600	24600		県費		7,725	7,725	7,305									
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		人役		0.5	0.5	0.5									
					実施期間	始期	終期	事業の概要						人件費	3,383	3,025	2,986						
S39	予定・見込があれば記入		令和5年度中等教育学校入学者選考及び高等学校入学者選抜に係る検査問題の作成・印刷、入試事務に関する諸用紙の印刷、入試問題等の輸送・運搬を行う。																				

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

ky02

確かな学力を育てる教育の推進

1	英語授業力強化推進事業費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		R2年度	R3年度	R4年度	
	評価対象外の理由	事業費計	2,505	2,505	3,081	2,111	事業費計	0	1,255	0
	その他	国費	2,505	2,505	3,081	2,111	国費	0	1,255	0
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費					県費			
	国事業不採択のため。						人役	0.5	0.5	0.5
							人件費	3,383	3,025	2,986